

企画展

動物目線の行動学

# バイオロギング

Bio-logging science: studying behavior from the animal's viewpoint

平成 23 年  
12月23日(金・祝)



平成 24 年  
3月4日(日)

国立科学博物館 (東京・上野公園)

- 【会場】 国立科学博物館 日本館 1階企画展示室  
【開館時間】 午前9時～午後5時 ※入館は閉館時刻の30分前まで  
【入館料】 常設展示入館料のみでご覧いただけます。  
一般・大学生：600円(団体300円) 高校生以下および65歳以上 無料 ※団体は20名以上  
【休館日】 毎週月曜日・12月28日(水)～1月1日(日)・1月10日(火)  
ただし12月26日(月)、1月2日(月・休)、1月9日(月・祝)は開館  
【主催】 国立科学博物館、東京大学大気海洋研究所  
【共催】 日本バイオロギング研究会、北海道大学大学院獣医学研究科、国立極地研究所、  
京都大学野生動物研究センター、福山大学生命工学部海洋生物科学科  
お問い合わせ 03-5777-8600 (ハローダイヤル) / ホームページ <http://www.kahaku.go.jp>

© Yoko Mitani, Tomoko Narazaki, Ken Yoda



国立科学博物館  
National Museum of Nature and Science



東京大学 大気海洋研究所  
Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo

動物目線の行動学

# バイオロギング

Bio-logging science: studying behavior from the animal's viewpoint



## バイオロギングって何??

# A

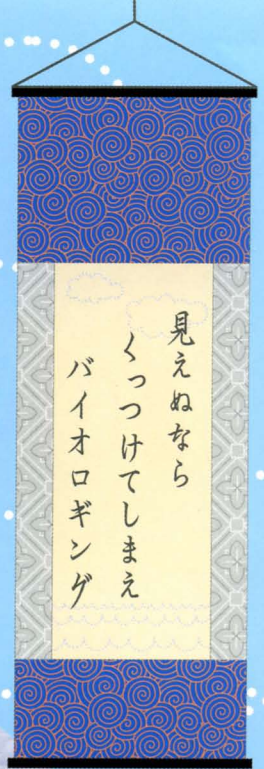
ウミガメが砂浜で産卵する様子や、ペンギンが氷の上をチョコチョコと歩くかわいらしい姿を私たちは見ることができます。しかし、いったん海の中に入ってしまうと、彼らはプイとどこかに泳ぎ去ってしまいます。そんな彼らの暮らしぶりを調べる方法が考案されました。動物に取りつけた超小型の記録計が、動物たちの隠されていた生活ぶりを明らかにします。驚くべき発見が相次いでいる「生物が記録する科学」について紹介します。



小型の記録計



カメラを背負ったウェッデルアザラシ



見えぬなら  
くっつけてしまえ  
バイオロギング

## 入ゾーン 巨大なゾウアザラシのはくせい剥製がお出迎え。

### ゾーン1: 画像で調べる

小型のカメラを動物たちに取り付けると、動物が普段目にしている世界が見えてきます。動物目線で眺めてみると、彼らの暮らしぶりがよくわかります。



撮影者：ペンギン

### ゾーン2: 音で調べる

視界が遮られる水の中では音が遠くまで届きます。一部のクジラやイルカたちはその音を使って自分のまわりの様子を「見て」います。体験型装置「スナメリヘルメット」で、イルカたちのように音でまわりを「見る」ことができるか挑戦してください。



### ゾーン3: 動きで調べる

小型の加速度計を使うと、これまで調べられなかった海の動物の細かい動きを測定できます。体験型装置「どうぶつリズム」でその原理を理解してください。



©S.Kawatsu

### ゾーン4: まとめて考える

バイオロギングの対象動物は魚類・爬虫類・鳥類・哺乳類へと広がっています。そんな動物たちの動きを比較したところ、思いがけない発見がありました。



©K.Ichikawa

### 最終ゾーン:

## 求む探検家!!

小型の装置を片手に世界中の海に出かけていく研究者たちは現代の探検家です。さあ、あなたも始めてみよう「バイオロギング」。バイオロギング研究を進めている日本全国の研究室を紹介します。

一緒にバイオロギングをやってみないか!



「本企画展の期間中、研究者による講演会を実施します。くわしくはホームページをご確認ください。」

<http://www.kahaku.go.jp/>

### 交通ガイド

- ・JR 「上野駅」公園口から徒歩5分
  - ・東京メトロ銀座線・日比谷線 「上野駅」から徒歩10分
  - ・京成電鉄 「京成上野駅」から徒歩10分
- ※駐車場はありませんので、お車での来館はご遠慮ください。

